

平成25年度 五ヶ瀬町教育委員会 委任事務の自己点検・評価シート

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

A : 達成している (100%) B : ほぼ達成している (80%) C : 概ね達成している (60%) D : 達成していない (50%以下)

中項目	小項目	点検・評価	
1 学校教育の充実	(1)五ヶ瀬教育ビジョンの実践	A	五ヶ瀬教育ビジョンを発展的に展開するとともに、2年目となる「豊かな体験活動プログラム」の充実を図った。ビジョン実践5年目としての取組みの効果が現れており、児童生徒の学習意欲に変化が見られている。
	(2)教職員の資質の向上	A	町校長会・教頭会研修等の充実、パワーアップ講座等各種の研修を通じて教職員の指導力の向上を図った。また、学校訪問における指導、校内研修を通じて資質の向上を図った。
	(3)学校管理運営の円滑化	B	校長会において、より発展的な学校運営を行なうための学校管理運営の発案を呼びかけ、実践が図られた。また、危機管理への対応が図られた。
	(4)学習指導の充実・学力向上の推進	B	五ヶ瀬教育ビジョンの部会の再編により柔軟な活動が図られた。また、教師の授業力向上の取り組みにより、児童生徒の学力が着実に向上升してきている。
	(5)人権教育・生徒指導の充実	B	人権尊重に関する望ましい価値観を育てるとともに、よりよい人間関係をつくるための授業や校内研修等を継続して行った。
	(6)特別支援教育の充実	B	就学指導委員会やおもいやりGネットワークを活用し、障がいのある子どもの実態把握を行った。特別支援教育支援員については配置を工夫した。
	(7)学校保健・給食の充実	B	五ヶ瀬教育ビジョンに基づき、健康で元気な町づくり担当で児童生徒の健康・体力の向上に努めた。食育教育については積極的な取組みが始まった。さらに発展が望まれる。
	(8)学校体育・部活動指導の充実	C	小中学校における体育や学校独自の活動を通じて体力向上策を講じている。本町ではスポーツ少年団や中学校の部活動等、競技スポーツに親しむ機会が多いが、競技力向上についてはさらなる充実を図る必要がある。
	(9)学校評価の充実	A	学校評価委員による評価体制を発展させ継続できている。平成25年度は、より評価しやすい評価シートへと改正するとともに、提案しやすい会議にした。
	(10)教育環境の整備等	B	教育施設の整備については、改修を必要としている施設・設備を計画的に整備していく必要がある。平成25年度はおいては緊急を要する工事・修繕を実施し、三中においては飲料水の安全対策が図られた。児童生徒用PCの更新については平成26年度実施となる。
2 社会教育の充実	(1)子育て支援体制の強化	B	子育て支援のための地域環境や教育環境を整備するため、住民福祉推進課・おもいやりGネットワーク等の関係機関の連携強化、また、読書活動講座を開催する等、子育て支援事業等に努めた。
	(2)家庭教育の充実	B	児童生徒の健全な成長を支援するため、家庭・学校・地域社会の連携に努めている。特に、基本的な生活習慣の調査とその対策を検討するとともに、放課後こども教室を中心とした夏・冬休み中の学習教室開催などを行った。また、各小中学校に家庭教育学級を開設し支援している。
	(3)生涯にわたる学習活動の充実	B	各講座ごとに本町の特性を生かした個性豊かな生涯学習の推進に努めている。多数の住民が生涯学習に取組んでいるが、各講座とも高齢化がすすみ、会員数の維持と指導者の確保が課題となっている。
	(4)社会教育関係団体の育成強化	B	平成25年度においても青年団活動の充実継続がみられる。社会教育各種団体の活動については充実が望まれる。自治公民館においては平成24年度同様、地区により差があるものの、自主活動に工夫がみられるようになった。
	(5)男女共同参画社会づくりの支援	C	女性の地位向上と社会連帯意識の高揚を図るため、総務課とともに社会参加活動を支援しているが、積極的な参加には至っていない。
	(6)学習施設の整備充実	C	図書館整備については、貫原橋の改築計画を待って計画を進めることとした。地区の公民館改修については要望により実施しているが、平成25年度の要望はなかった。
	(7)芸術文化の振興	B	自然の恵み資料館における特別企画展により、芸術文化の振興が図られてきている。文化協会においては、加入団体の高齢化、会員の減少がみられるものの、活動が活発化してきている。学校においては平成24年度に引き続き美術の祭典とかがみ会発表会を教育文化祭として同時開催した。
	(8)文化財・伝統芸能の保護と活用	B	文化財保護調査委員会の活発な活動により文化財の調査・保護がすすんできている。町内には伝統芸能の保存会が多数存在し、町補助金等で育成を図っているが、後継者の育成・確保が課題となっている。
3 生涯スポーツの振興	(1)生涯スポーツの推進と指導者の養成	B	平成25年度においても、各種スポーツ団体が積極的な活動を行っており、大会参加も積極的である。町民駅伝やバレーボール、ソフトボール等の町民大会も継続して開催しているが、悪天候時の対応を協議する必要がある。指導者の育成は各団体により推進されている。欠員となっていた町のスポーツ推進委員については平成25年度から補充された。
	(2)施設の整備充実と活用促進	C	スポーツ施設は充実しているが、施設の補修・改修が必要になってきており、特にGパーク陸上競技場・スポーツ広場の芝の更新が喫緊の課題となっている。平成24年度から養生期間の設定を行い、芝の回復に務めており、回復が見られるようになった。
	(3)体育・スポーツ団体の育成指導	C	町体育協会・スポーツ少年団等の支援、組織の強化に継続して努めている。指導者の育成が課題である。